寒くなる前の雨

時雨そっと　誰もいない
路地を一人　傘も差さず
ひとしずく　頬を撫でる
優しい風　季節の終わり告げる

濡れてしまうことより今は
忘れること手伝ってくれる
過ぎた日の記憶をそっと揺らし
心も少し　やさしくなる

しとしと　しずかに　銀色に光る
この雨　全てを　静かに流してゆく

時雨が降る　一人歩く
冷えた空気に　音が溶ける
言葉交わす　相手もなく
冷たい風　そんな中でささやく

孤独感じることより今は
自分だけで誰にも知られず
言葉にならないもどかしさを
ため息と共に吹き飛ばして

しとしと　しずかに　銀色に光る
この雨　全てを　静かに流してゆく

時雨そっと　誰もいない
路地を一人　傘も差さず
ひとしずく　頬を撫でる
優しい風　季節は歩み進める